

<2021年7月6日発表>

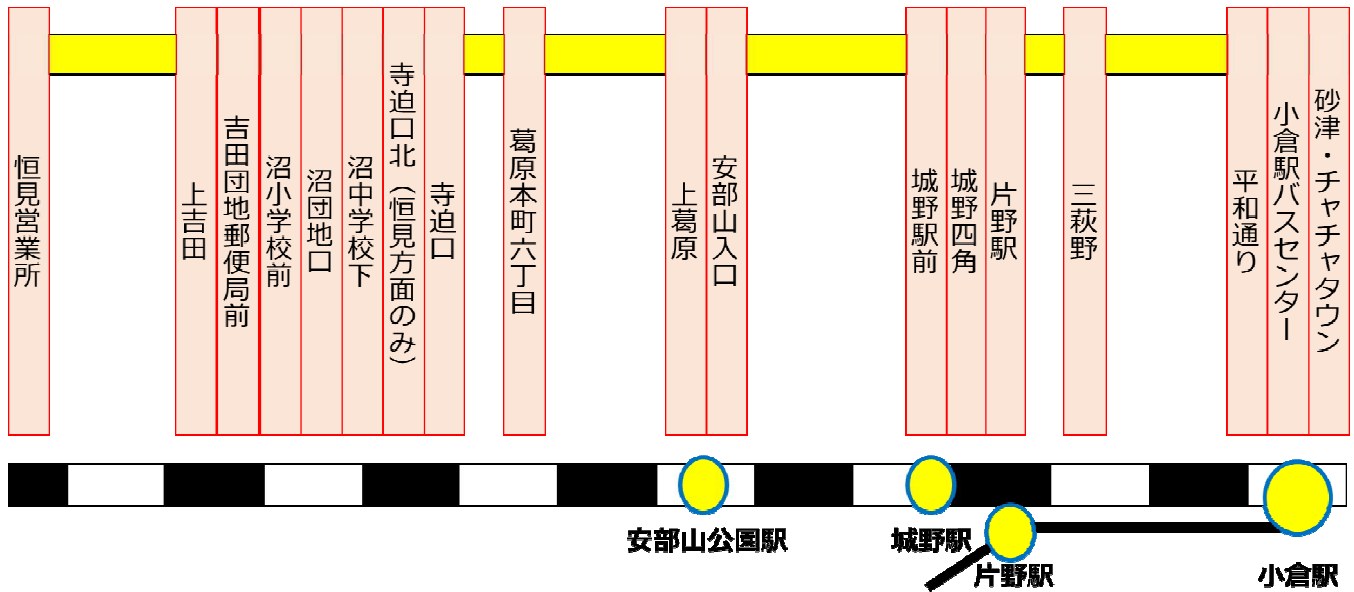
北九州地区 恒見～小倉間に連節バスを導入！！ 7月31日（土）運行開始 ～合わせて周辺地域の路線再編を実施します～

- 西鉄バス北九州(株)は、2021年7月31日(土)より、恒見～小倉間(恒見ルート)において新たに連節バスの運行を開始いたします。合わせて、弥生が丘・昭和池エリア、安部山公園エリアの路線再編を実施します。
- 同社は、北九州市と協働で、人口減少・高齢化社会に対応した持続可能な公共交通ネットワークの再構築の為、「拠点間BRT※」の導入に取り組んでおります。この度、北九州市の幹線区間である、恒見(門司区)～寺迫口(小倉南区)～小倉・砂津(小倉北区)間に連節バス3台を導入し、同区間を特別快速系統(行先番号:特快10番)にて1日12往復運行いたします。合わせて周辺地域(弥生が丘・昭和池エリア、安部山公園エリア)のバス路線再編を実施し、連節バスをはじめとする幹線区間のバス路線との乗り継ぎやJR下曾根駅における鉄道との乗り継ぎ利便性向上を図ります。
- 連節バスの車両デザインは、安部山公園をはじめとする小倉南区の公園に数多く見られる桜をイメージしたピンク色で、沿線の街のシンボルでありたいという思いを込めています。
- 同社では、今後も北九州市と協働で、主要幹線軸(バス・鉄道)と周辺地域のバス路線の効率的な組み合わせにより、地域の実情に応じたバスネットワークを再構築し、公共交通サービスの維持に努めてまいります。

※BRT…連節バスの導入やバス専用道、バス専用レーン等を整備することで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステム
北九州地区では、「拠点間BRT」として、都心部と郊外部を連節バスで結び、各エリアへ向かう路線バスとの乗継を強化することで、公共交通の更なる利便性向上を目指している



【連節バス停車停留所】



■路線再編の概要

【実施日】

2021年7月31日(土)

【主な路線再編の概要】

① 弥生が丘・昭和池エリアの路線再編

JR 下曾根駅周辺地区から小倉方面への移動において、JR 下曾根駅および寺迫口にて小倉方面への鉄道・バスに乗り継ぐことを主とした路線再編を2020年3月に実施し、弥生が丘・昭和池エリア及び沼・吉田エリア～JR 下曾根駅・寺迫口間の直通システムを新設しました。それに続く今回の再編では、貫小学校エリア(小倉南区上貫)から同駅へのバスアクセス向上を図るほか、昨春実施区間(弥生が丘・昭和池エリア)においても、同駅へのアクセス改善に取り組み、鉄道・バスへの乗り継ぎ利便性の向上を図ります。

② 安部山公園エリアの路線再編

安部山公園エリアを発着する路線を、幹線区間へ接続する路線に再編します。

【その他】

その他詳細な情報・運行時刻等については、7月17日(土)に同社ホームページ「にしてつバスっちゃ! 北九州」にて公開予定です。(<https://nishitetsu-ktq.jp/>)

※上記内容については、現在認可申請中です。

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(TEL:0570-00-1010)まで